



今月は、本校の第2回学校公開と文化祭（下特スマイルフェスタ）が行われました。今回の学校公開では通常授業の公開や教材展示だけでなく、「地域に生きる～地域防災を考える」というテーマでシンポジウムも開催いたしました。シンポジウムは、新しい試みでありましたが、本校の防災教育に関する取り組みの確認やこれからの地域防災について考える良い機会となりました。文化祭では、児童生徒やPTA、福祉施設、青年会議所の模擬店が大盛況でした。お忙しい中、本校の学校公開と文化祭に足をお運びいただきましてありがとうございました。

平成 28 年度 巡回相談件数（前期分）

学校種	校数	出向き相談件数	主な相談内容
小学校	10	89	<ul style="list-style-type: none">発達検査に基づくアセスメント発達障害の特性と学校生活における具体的な支援学習指導の工夫自立活動の指導内容（ソーシャルスキルトレーニング）個別の教育支援計画について緊急時の対応について医療相談の進め方保護者との連携の進め方校外学習、遠足、宿泊を伴う学校行事などの際の支援について専門家による職員研修ケース会議の進め方
中学校	4	30	
高等学校	1	1	

この他に、来校・電話相談では就学や進路に関する相談が多くなっていますが、生活場面での介助方法についての問い合わせや、就学前の幼児、児童生徒の利用する事業所職員の方からの活動内容や教材、支援方法についての問い合わせ、医療的ケアに関する問い合わせ等もあります。

しもとくサポート情報コーナー

学習支援ツール「タブレット端末」

児童生徒は、それぞれ生活上及び学習上の様々な困難さを抱えています。見ることや聞くこと、話すことの困難さ、手の不自由さ、認知や理解の困難さなど、困り感は個々によって様々です。そこで、児童生徒が困難さを少しでも改善し、スムーズに生活し学習できるように、タブレット端末を活用することも有効な手段と考えられます。

【活用例】 高等部 自立活動及び国語の授業での活用について

「ロイロノート」の利点は、生徒による操作が簡単で、スライドを提示する時間を調整でき、スライドごとに録音ができることです。この特徴を活用して、自立活動や国語の時間に生徒の発声や音読を録音して、発音（口の動きや発声の仕方）の指導や生徒の音読の確認に使用しています。また、授業の振り返りに活用しています。



※ロイロノートは、写真、動画、テキスト、Web などのカードを線でつなぐだけで簡単にプレゼンテーションが行えるツールです。児童生徒の発表から会社でのプレゼンテーションまでシンプルな操作で実現可能です。本校のタブレット端末にもこのアプリは導入されております。価格は、600円です。



参考文献 『決定版！特別支援教育のためのタブレット活用』 編著 金森克浩 2016